



平成 23 年 7 月 5 日

各 位

会 社 名：株式会社 fonfun
代表者名：代 表 取 締 役 社 長 林 和之
(JASDAQ コード番号：2323)
問合せ先：取締役執行役員経営管理部部長 八田 修三
(TEL：03-5357-0303)

(訂正)「平成 22 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、本日付別途開示しております「訂正有価証券報告書等の提出及び過年度決算短信の一部訂正に関するお知らせ」のとおり、平成 22 年 3 月期第 2 四半期決算短信の訂正内容が確定いたしましたので、お知らせいたします。

記

訂正を行う決算短信

「平成 22 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」 (公表日) 平成 21 年 11 月 16 日

※訂正箇所が多岐にわたっており、正誤表による形式ではわかりづらくなることから、訂正後と訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線 を付して表示しております。

以上

(訂正後)

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月16日

上場会社名 株式会社fonfun 上場取引所 大
 コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三浦浩之
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼専務執行役員 (氏名)佐藤 充 TEL (03)5350-7800
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月16日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	555	—	46	—	39	—	37	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	17	66	—	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年3月期第2四半期	783		173		22.0	81	68	
21年3月期	972		132		13.4	61	97	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 172百万円 21年3月期 130百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—	—	0	00	0	00
22年3月期	—	—	0	00		
22年3月期(予想)			—	—	0	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,200	△57	50	—	50	—	50	—	23	68

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | | | | |
| | 22年3月期第2四半期 | 2,146,720株 | 21年3月期 | 2,146,720株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 22年3月期第2四半期 | 39,400株 | 21年3月期 | 38,590株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計期間） | | | | |
| | 22年3月期第2四半期 | 2,107,819株 | 21年3月期第2四半期 | 2,113,000株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1、平成21年5月12日発表の個別業績予想は修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は4ページ「【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2、経営成績(累計)につきましては、前年同四半期は連結ベースで開示しておりましたが、前事業年度末において連結子会社が存在しなくなったため記載をしておりません。

【定性的情報・財務諸表】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、一部において落ち込みの下げ止まり感はあるものの、引続き企業収益回復の遅れや高水準の失業率等、依然として厳しい状況で推移しております。

当社においては前期に引続き「営業キャッシュ・フロー重視」、「事業ドメインを明確にして経営資源を集約する」を経営方針として経営を行ってまいりましたが、コンテンツ業界の多角化の影響や市場の成熟など厳しい環境となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における当社の業績は、売上高555百万円（前年同期比59.4%減）、営業利益46百万円（前年同期は連結営業損失190百万円）、経常利益39百万円（前年同期は連結経常損失187百万円）、四半期純利益37百万円（前年同期は連結四半期純損失797百万円）となりました。

事業別の業績は次のとおりであります。

当社は、携帯電話とパソコンによるインターネットユーザー向けに各種サービス、アプリケーション、コンテンツ及びソフトウェアの企画、製作、開発、配信、販売を行うインターネットサービスを行っております。各事業部門別の経営成績は次のとおりであります。

①リモートメール事業

当第2四半期累計期間において、当社の主力サービスである「リモートメール」では、10周年を迎え各種キャンペーンを実施し「Notes」や「IMAP」などへの対応、機能強化を行い、携帯電話販売店舗における積極的な販促活動を実施し会員数増加に努めてまいりました。

又、個人版「リモートメール」を応用した法人向けサービスにおいても、同様に10周年記念の各種キャンペーンを実施し、引続き大企業向けに営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでまいりました。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は400百万円（前年同期比31.5%増）となりました。

②コンテンツ事業

モバイルコンテンツを中心に新規に「懸賞」、「占い」の2つのコンテンツのサービスを開始いたしました。

上記の結果、コンテンツ事業の売上高は118百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

③ソリューション事業

ブロードバンドコンテンツ配信大手を主要な顧客とするエンコード事業においては、国内大手ブロードバンド企業数社の統合及び子会社化などの環境変化により当初計画を下回る結果となりました。

上記の結果、ソリューション事業の売上高は35百万円（前年同期比82.7%減）となりました。

※ なお、当第1四半期会計期間より連結財務諸表を作成しておりません。前年同四半期増減率（前年同四半期の金額）は連結ベースでの比較となり、参考値として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は783百万円となり、前事業年度末に比べ189百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産における現金及び預金の138百万円の減少、長期未収入金の減少78百万円等であります。

純資産は173百万円となり、前事業年度末に比べ40百万円の増加となっております。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は189百万円となりました。この主な要因は税引前四半期純利益が38百万円となり、減価償却費13百万円、売上債権の減少額24百万円、未払費用の減少43百万円、仕入債務の減少7百万円等が発生したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は134百万円となりました。この主な要因は、貸付金による支出3百万円、拘束性預金の増加150百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は35百万円となりました。この主な要因は短期借入金の増加67百万円、長期借入金の返済による支出31百万円等であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

四半期財務諸表につきましては、前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は連結ベースで開示しておりましたが、前事業年度末において連結子会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）については連結財務諸表を作成していません。

よって、参考資料として前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日）の四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書を開示いたしております。

(1) 【四半期貸借対照表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,768	304,550
売掛金	261,021	285,080
商品	5,003	7,813
製品	348	641
繰延税金資産	32,503	32,503
短期貸付金	5,430	3,000
未収入金	29,508	42,613
その他	16,465	18,974
貸倒引当金	△33,346	△36,366
流動資産合計	482,702	658,811
固定資産		
有形固定資産	51,414	60,589
無形固定資産		
ソフトウェア	18,902	19,517
ソフトウェア仮勘定	2,300	—
その他	1,122	1,122
無形固定資産合計	22,324	20,639
投資その他の資産		
投資有価証券	136,001	141,712
長期貸付金	10,000	250,000
長期未収入金	1,374,015	1,198,403
その他	80,870	80,926
貸倒引当金	△1,374,015	△1,438,403
投資その他の資産合計	226,872	232,638
固定資産合計	300,611	313,867
資産合計	783,313	972,679
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,943	26,972
短期借入金	392,682	350,492
未払金	59,815	73,175
未払費用	11,261	54,995
未払法人税等	4,303	4,663
債務保証損失引当金	—	209,504
その他	29,240	23,281
流動負債合計	517,247	743,084

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	67,346	71,342
退職給付引当金	17,376	9,860
その他	8,233	15,828
固定負債合計	92,955	97,030
負債合計	610,202	840,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,191,105	2,191,105
資本剰余金	585,061	585,061
利益剰余金	<u>△2,431,134</u>	<u>△2,468,368</u>
自己株式	△172,909	△172,691
株主資本合計	172,121	135,106
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△4,468
評価・換算差額等合計	—	△4,468
新株予約権	988	1,925
純資産合計	<u>173,110</u>	<u>132,563</u>
負債純資産	783,313	972,679

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	555,155
売上原価	144,962
売上総利益	410,192
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	43,791
支払手数料	77,150
役員報酬	22,100
給料及び手当	109,203
地代家賃	20,804
その他	90,588
販売費及び一般管理費合計	363,637
営業利益	46,554
営業外収益	
受取利息	1,430
為替差益	281
その他	102
営業外収益合計	1,814
営業外費用	
支払利息	8,441
その他	481
営業外費用合計	8,922
経常利益	39,446
特別利益	
投資有価証券売却益	13,439
子会社整理損失見積修正額	8,143
退職給付費用見積修正額	3,330
貸倒引当金戻入額	3,419
その他	5,781
特別利益合計	34,115
特別損失	
特別退職金	17,609
子会社整理損	3,476
不正事件関連損失	13,595
特別損失合計	34,680
税引前四半期純利益	38,880
法人税、住民税及び事業税	1,646
法人税等合計	1,646
四半期純利益	37,233

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

		当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益		38,880
減価償却費		13,295
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		249,980
退職給付引当金の増減額 (△は減少)		7,515
受取利息及び受取配当金		△1,430
支払利息		8,441
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)		△209,504
売上債権の増減額 (△は増加)		24,058
たな卸資産の増減額 (△は増加)		3,102
前払費用の増減額 (△は増加)		1,980
未払金の増減額 (△は減少)		△10,973
未払費用の増減額 (△は減少)		△43,839
未払消費税等の増減額 (△は減少)		7,103
仕入債務の増減額 (△は減少)		△7,028
その他		△260,039
小計		△178,457
利息及び配当金の受取額		2,619
利息の支払額		△8,847
法人税等の支払額		△4,649
営業活動によるキャッシュ・フロー		△189,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△1,280
無形固定資産の取得による支出		△4,269
投資有価証券の売却による収入		23,352
敷金及び保証金の回収による収入		180
敷金及び保証金の差入による支出		△124
貸付けによる支出		△3,463
貸付金の回収による収入		1,050
拘束性預金の増減		△150,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		△134,604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)		67,071
長期借入金の返済による支出		△31,746
自己株式の取得による支出		△218
財務活動によるキャッシュ・フロー		35,107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△288,831
現金及び現金同等物の期首残高		304,550
現金及び現金同等物の四半期末残高		15,719

「参考資料」

(4) 【前第2四半期連結損益計算書】

【前第2四半期連結累計期間】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
区分	金額(千円)	
I 売上高		1,368,528
II 売上原価		741,698
売上総利益		626,829
III 販売費及び一般管理費		
1 広告宣伝費	89,487	
2 販売促進費	33,508	
3 支払手数料	135,475	
4 役員報酬	33,450	
5 給与及び手当	243,063	
6 地代家賃	57,236	
7 貸倒引当金繰入額	3,241	
8 その他	222,184	817,647
営業損失(△)		△190,817
IV 営業外収益		
1 受取利息	1,663	
2 受取配当金	952	
3 為替差益	3,394	
4 その他	4,586	10,595
V 営業外費用		
1 支払利息	3,655	
2 持分法による投資損失	1,853	
3 その他	1,748	7,256
経常損失(△)		△187,477
VI 特別損失		
1 固定資産除却損	42,459	
2 投資有価証券評価損	13,499	
3 関係会社株式評価損	19,059	
4 貸倒引当金繰入額	148,272	
5 減損損失	148,525	
6 不正事件関連損失	215,775	
7 その他	8,916	596,509
税金等調整前四半期純損失(△)		△783,986
法人税、住民税及び事業税	3,501	
法人税等調整額	10,376	13,877
四半期純損失(△)		△797,864

(5) 【前第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△783,986</u>
減価償却費	80,054
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>365,186</u>
退職給付引当金の増減額(△は減少)	393
受取利息及び受取配当金	△2,615
支払利息	3,655
持分法による投資損益(△は益)	1,853
固定資産除売却損益(△は益)	42,459
減損損失	148,525
関係会社株式評価損	19,059
投資有価証券評価損益	<u>13,499</u>
売上債権の増減額(△は増加)	193,785
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,036
前渡金の増減額(△は増加)	<u>10,139</u>
前払費用の増減額(△は増加)	△12,902
未収入金の増減額(△は増加)	<u>223,559</u>
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△10,695
未払金の増減額(△は減少)	38,552
未払費用の増減額(△は減少)	7,558
未払消費税等の増減額(△は減少)	<u>13,343</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,437
その他の流動負債の増減額(△は減少)	10,704
その他	△5,730
小計	<u>△124,118</u>
利息及び配当金の受取額	2,868
利息の支払額	△3,542
法人税等の支払額	△5,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△130,432</u>

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△27,261
無形固定資産の取得による支出	△98,531
投資有価証券の取得による支出	△13,500
敷金及び保証金の回収による収入	39,856
敷金及び保証金の差入による支出	△20,375
貸付金による支出	△119,883
貸付金の回収による収入	30,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,498
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,241
長期借入金の返済による支出	△115,826
自己株式の取得による支出	△337
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,077
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△126
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△255,979
VI 現金及び現金同等物の期首残高	889,489
VII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△17,537
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	615,972

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月16日

上場会社名 株式会社fonfun 上場取引所 大
 コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三浦浩之
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼専務執行役員 (氏名)佐藤 充 TEL (03)5350-7800
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月16日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	555	—	19	—	12	—	23	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	11	31	—	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年3月期第2四半期	1,244		640		51.4	303	46	
21年3月期	1,238		613		49.4	290	02	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 639百万円 21年3月期 611百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—	—	0	00	0	00
22年3月期	—	—	0	00		
22年3月期(予想)			—	—	0	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,200	△57	50	—	50	—	50	—	23	68

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | | | | |
| | 22年3月期第2四半期 | 2,146,720株 | 21年3月期 | 2,146,720株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 22年3月期第2四半期 | 39,400株 | 21年3月期 | 38,590株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計期間） | | | | |
| | 22年3月期第2四半期 | 2,107,819株 | 21年3月期第2四半期 | 2,113,000株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1、平成21年5月12日発表の個別業績予想は修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は4ページ「【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2、経営成績(累計)につきましては、前年同四半期は連結ベースで開示しておりましたが、前事業年度末において連結子会社が存在しなくなったため記載をしておりません。

【定性的情報・財務諸表】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、一部において落ち込みの下げ止まり感はあるものの、引続き企業収益回復の遅れや高水準の失業率等、依然として厳しい状況で推移しております。

当社においては前期に引続き「営業キャッシュ・フロー重視」、「事業ドメインを明確にして経営資源を集約する」を経営方針として経営を行ってまいりましたが、コンテンツ業界の多角化の影響や市場の成熟など厳しい環境となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における当社の業績は、売上高555百万円（前年同期比59.4%減）、営業利益19百万円（前年同期は連結営業損失190百万円）、経常利益12百万円（前年同期は連結経常損失187百万円）、四半期純利益23百万円（前年同期は連結四半期純損失568百万円）となりました。

事業別の業績は次のとおりであります。

当社は、携帯電話とパソコンによるインターネットユーザー向けに各種サービス、アプリケーション、コンテンツ及びソフトウェアの企画、製作、開発、配信、販売を行うインターネットサービスを行っております。各事業部門別の経営成績は次のとおりであります。

①リモートメール事業

当第2四半期累計期間において、当社の主力サービスである「リモートメール」では、10周年を迎え各種キャンペーンを実施し「Notes」や「IMAP」などへの対応、機能強化を行い、携帯電話販売店舗における積極的な販促活動を実施し会員数増加に努めてまいりました。

又、個人版「リモートメール」を応用した法人向けサービスにおいても、同様に10周年記念の各種キャンペーンを実施し、引続き大企業向けに営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでまいりました。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は400百万円（前年同期比31.5%増）となりました。

②コンテンツ事業

モバイルコンテンツを中心に新規に「懸賞」、「占い」の2つのコンテンツのサービスを開始いたしました。

上記の結果、コンテンツ事業の売上高は118百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

③ソリューション事業

ブロードバンドコンテンツ配信大手を主要な顧客とするエンコード事業においては、国内大手ブロードバンド企業数社の統合及び子会社化などの環境変化により当初計画を下回る結果となりました。

上記の結果、ソリューション事業の売上高は35百万円（前年同期比82.7%減）となりました。

※ なお、当第1四半期会計期間より連結財務諸表を作成しておりません。前年同四半期増減率（前年同四半期の金額）は連結ベースでの比較となり、参考値として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は1,244百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産における現金及び預金の138百万円の減少、長期未収入金の減少78百万円等であります。

純資産は640百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円の増加となっております。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は21百万円となりました。この主な要因は税引前四半期純利益が25百万円となり、減価償却費28百万円、売上債権の減少額24百万円、未払費用の減少43百万円、仕入債務の減少7百万円等が発生したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は345百万円となりました。この主な要因は、貸付金による支出214百万円、拘束性預金の増加150百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は35百万円となりました。この主な要因は短期借入金の増加67百万円、長期借入金の返済による支出31百万円等であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

四半期財務諸表につきましては、前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は連結ベースで開示しておりましたが、前事業年度末において連結子会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）については連結財務諸表を作成していません。

よって、参考資料として前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日）の四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書を開示いたしております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,768	304,550
売掛金	261,021	285,080
商品	5,003	7,813
製品	348	641
繰延税金資産	32,503	32,503
短期貸付金	5,430	3,000
未収入金	29,508	42,613
その他	16,465	18,974
貸倒引当金	<u>△33,346</u>	<u>△36,366</u>
流動資産合計	<u>482,702</u>	<u>658,811</u>
固定資産		
有形固定資産	78,914	97,256
無形固定資産		
ソフトウェア	74,935	81,950
ソフトウェア仮勘定	163,300	161,000
その他	1,122	1,122
無形固定資産合計	<u>239,357</u>	<u>244,072</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	141,966	147,676
長期貸付金	221,100	250,000
長期未収入金	817,715	896,703
その他	80,870	80,926
貸倒引当金	<u>△817,715</u>	<u>△1,136,703</u>
投資その他の資産合計	<u>443,936</u>	<u>238,603</u>
固定資産合計	<u>762,209</u>	<u>579,932</u>
資産合計	<u>1,244,911</u>	<u>1,238,743</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,943	26,972
短期借入金	392,682	350,492
未払金	59,815	73,175
未払費用	11,261	54,995
未払法人税等	4,303	4,663
その他	23,469	18,083
流動負債合計	<u>511,476</u>	<u>528,380</u>
固定負債		
長期借入金	67,346	71,342
退職給付引当金	17,376	9,860
その他	8,233	15,828
固定負債合計	<u>92,955</u>	<u>97,030</u>
負債合計	<u>604,431</u>	<u>625,411</u>

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,191,105	2,191,105
資本剰余金	585,061	585,061
利益剰余金	<u>△1,963,765</u>	<u>△1,987,599</u>
自己株式	△172,909	△172,691
株主資本合計	<u>639,491</u>	<u>615,875</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	△4,468
評価・換算差額等合計	0	△4,468
新株予約権	988	1,925
純資産合計	<u>640,480</u>	<u>613,332</u>
負債純資産	<u>1,244,911</u>	<u>1,238,743</u>

(2) 【四半期損益計算書】
 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	555,155
売上原価	160,528
売上総利益	394,626
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	55,220
支払手数料	77,150
役員報酬	22,100
給料及び手当	109,203
地代家賃	20,804
その他	90,588
販売費及び一般管理費合計	375,066
営業利益	19,559
営業外収益	
受取利息	1,430
為替差益	281
その他	102
営業外収益合計	1,814
営業外費用	
支払利息	8,441
その他	481
営業外費用合計	8,922
経常利益	12,451
特別利益	
投資有価証券売却益	13,439
子会社整理損失見積修正額	8,143
退職給付費用見積修正額	3,330
貸倒引当金戻入額	3,419
その他	5,781
特別利益合計	34,115
特別損失	
特別退職金	17,609
子会社整理損	3,476
特別損失合計	21,085
税引前四半期純利益	25,481
法人税、住民税及び事業税	1,646
法人税等合計	1,646
四半期純利益	23,834

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	25,481
減価償却費	28,861
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,019
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,515
受取利息及び受取配当金	△1,430
支払利息	8,441
売上債権の増減額 (△は増加)	24,058
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,102
前払費用の増減額 (△は増加)	1,980
未払金の増減額 (△は減少)	△10,973
未払費用の増減額 (△は減少)	△43,839
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,532
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,028
その他	△7,040
小計	32,642
利息及び配当金の受取額	2,619
利息の支払額	△8,847
法人税等の支払額	△4,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,280
無形固定資産の取得による支出	△4,269
投資有価証券の売却による収入	23,352
敷金及び保証金の回収による収入	180
敷金及び保証金の差入による支出	△124
貸付けによる支出	△214,563
貸付金の回収による収入	1,050
拘束性預金の増減	△150,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	67,071
長期借入金の返済による支出	△31,746
自己株式の取得による支出	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,831
現金及び現金同等物の期首残高	304,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,719

「参考資料」

(4) 【前第2四半期連結損益計算書】

【前第2四半期連結累計期間】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
区分	金額(千円)	
I 売上高		1,368,528
II 売上原価		741,698
売上総利益		626,829
III 販売費及び一般管理費		
1 広告宣伝費	89,487	
2 販売促進費	33,508	
3 支払手数料	135,475	
4 役員報酬	33,450	
5 給与及び手当	243,063	
6 地代家賃	57,236	
7 貸倒引当金繰入額	3,241	
8 その他	222,184	817,647
営業損失(△)		△190,817
IV 営業外収益		
1 受取利息	1,663	
2 受取配当金	952	
3 為替差益	3,394	
4 その他	4,586	10,595
V 営業外費用		
1 支払利息	3,655	
2 持分法による投資損失	1,853	
3 その他	1,748	7,256
経常損失(△)		△187,477
VI 特別損失		
1 固定資産除却損	42,459	
2 関係会社株式評価損	19,059	
3 貸倒引当金繰入額	148,272	
4 減損損失	148,525	
5 その他	8,916	367,234
税金等調整前四半期純損失(△)		△554,711
法人税、住民税及び事業税	3,501	
法人税等調整額	10,376	13,877
四半期純損失(△)		△568,589

(5) 【前第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△554,711</u>
減価償却費	80,054
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>149,411</u>
退職給付引当金の増減額(△は減少)	393
受取利息及び受取配当金	△2,615
支払利息	3,655
持分法による投資損益(△は益)	1,853
固定資産除売却損益(△は益)	42,459
減損損失	148,525
関係会社株式評価損	19,059
売上債権の増減額(△は増加)	193,785
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,036
前渡金の増減額(△は増加)	<u>△106,935</u>
前払費用の増減額(△は増加)	△12,902
未収入金の増減額(△は増加)	<u>△7,784</u>
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△10,695
未払金の増減額(△は減少)	38,552
未払費用の増減額(△は減少)	7,558
未払消費税等の増減額(△は減少)	<u>10,143</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,437
その他の流動負債の増減額(△は減少)	10,704
その他	△5,730
小計	<u>△ 28,618</u>
利息及び配当金の受取額	2,868
利息の支払額	△3,542
法人税等の支払額	△5,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 34,932</u>

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△27,261
無形固定資産の取得による支出	<u>△162,531</u>
投資有価証券の取得による支出	<u>△45,000</u>
敷金及び保証金の回収による収入	39,856
敷金及び保証金の差入による支出	△20,375
貸付金による支出	△119,883
貸付金の回収による収入	30,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 304,998</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,241
長期借入金の返済による支出	△115,826
自己株式の取得による支出	△337
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,077
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△126
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△255,979
VI 現金及び現金同等物の期首残高	889,489
VII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△17,537
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	615,972

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。